

6. 今後に向けて

留萌市水道ビジョンを実現していくためには、具体的方策に沿って、調査・検討を行った上で実施計画を策定しなければなりません。4つの基本方針に基づき、実施計画・工程は次のとおりです。

施 策	概 要	前期	中期	後期
安心・快適な給水の確保				
水源水質の維持・向上	原水水質の監視、調査を関連機関と協同で継続的に実施する。	○	○	○
新信砂浄水場の能力維持	取水・導水施設を更新する。		◎	
水質管理体制の充実	配水施設への水質監視設備を導入する。	◎	◎	
	遠方監視システムの導入する。		◎	
水道未整備地区の解消	水道への切り替え促進と小規模水道への指導を継続的に進める。	○	◎	◎
災害対策の充実				
施設の更新と耐震化	取水から配水までの施設の更新と耐震化を順次進める。			
取水施設	取水堰・取水井（取水口）の更新・耐震化		◎	
導水施設	導水管の更新・耐震化		◎	
浄水施設	電気・機械設備の更新、遠方監視設備導入		◎	
送水施設	老朽度調査と耐震化		◎	◎
配水施設 沖見配水場	送水ポンプ設備、各池の改修・耐震化、外構工事	◎	◎	◎
高区配水場	補修、防水改修、外構工事	◎	◎	
二次施設	平和台配水池増設、各施設の計装、伝送装置、機器更新	◎	◎	
配水管路	基幹管路の耐震化		◎	◎
緊急時給水量の確保	沖見配水場を緊急時給水拠点として整備を行う。	◎		
市民満足度の向上と運営基盤の強化				
市民満足度の向上				
ニーズの把握	市総合計画と連携した市民満足度の調査を実施する。	○	○	○
利便性向上	配管整備により目標水圧の確保と直結給水の拡大を実現する。	◎	◎	◎
広報活動の充実	水道ホームページの充実	○	○	○
運営基盤の強化				
新たな広域化の推進	施設の共同化、管理の一体化を検討する。		○	○
民間活用(外部委託)	技術的な施設管理、窓口、料金徴収について検討する。		○	○
財政体制の強化				
水道料金の見直し	経営戦略に基づく事業運営・料金改定の実施	○	○	○
工事コスト削減	工事コスト縮減策の実施と国庫補助の活用を行う。	○	○	○
環境・エネルギー対策の強化				
省エネルギー推進	再生可能エネルギー利用の検討	○	○	○
汚泥の有効利用	今後も継続して、有効利用率100%とする。	○	○	○
有効率の向上	漏水防止施策により、現状維持を目指す。	◎	◎	◎

(前期：～H30年度まで、中期：H31～H39、後期：H40以降)

- ◎ 工事を伴うもの
- 工事を伴わないもの

また、今回設定した目標を着実に実施する体制づくりに努めるとともに、PDCAのサイクルにて定期的（3～5年程度）にレビューし、必要に応じてビジョンの内容、優先順位等を見直してまいります。

